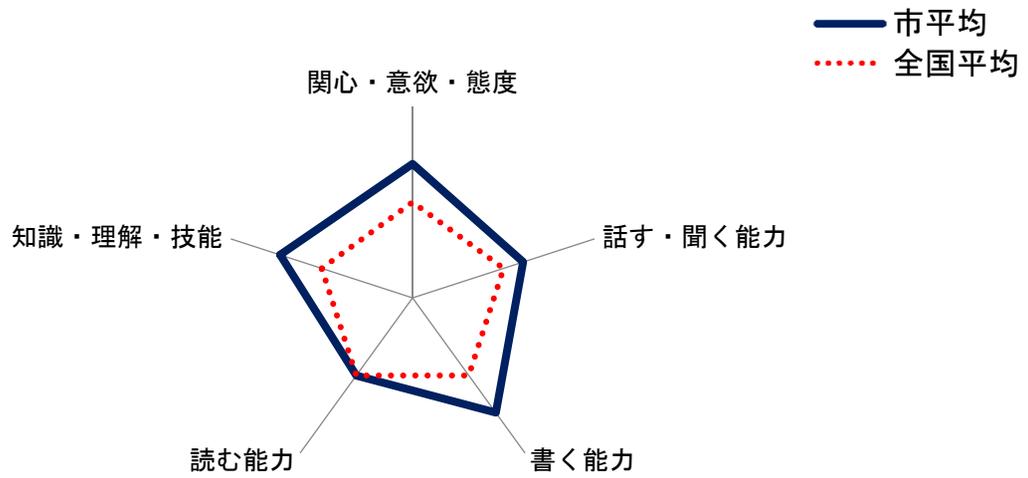
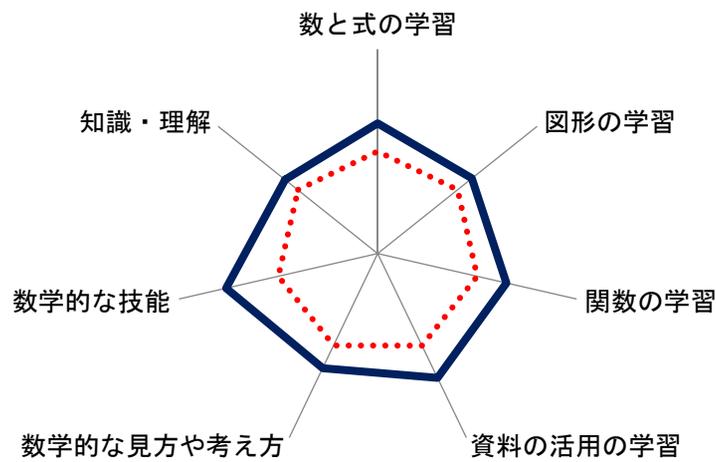


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

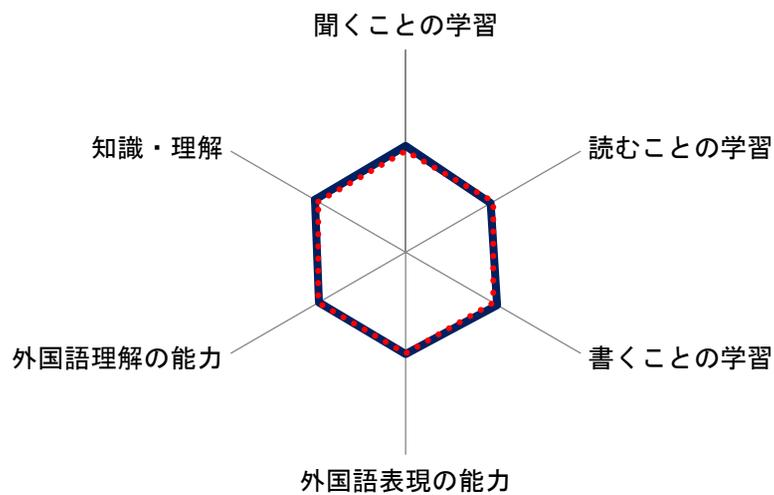
【国語】



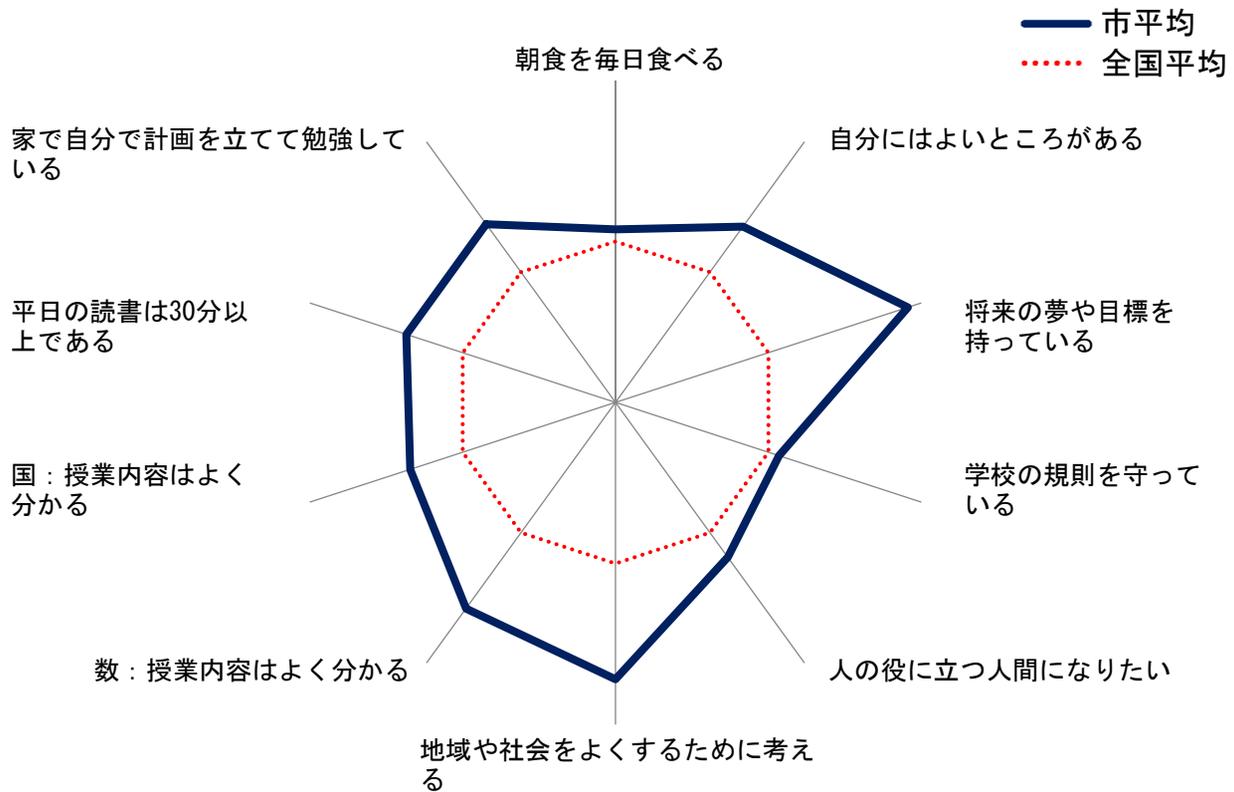
【数学】



【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学、英語の全ての項目が全国平均とほぼ同じか上回っており、結果はきわめて良好である。特に国語は「書く能力」、「知識・理解・技能」、「関心・意欲・態度」、数学は「数学的な技能」、「資料の活用の学習」の各項目が全国平均を大きく上回っており、「楽しい授業、分かる授業」が実践されていることがうかがえる。英語については、自分の思いや考えを表現することに課題があり、今後の授業の中で伝えあうコミュニケーション能力の育成に重点を当てた取組の充実が望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている全ての項目が全国平均を上回り、結果は良好である。特に「将来の夢や目標を持っている」、「地域や社会をよくするために考える」の各項目はきわめて良好である。えひめジョブチャレンジU-15を軸としたキャリア教育の積み重ねや中学校区で編制したブロック（小中連携）で、地域と関わる諸行事の実践における成果が出ていると思われる。